



能登町地域公共交通計画【概要版】

5. 地域公共交通計画の将来イメージ

宇出津市街地を地域拠点として、地域拠点への接続を確保するとともに、広域路線である特急バスへの乗継を強化します。さらに、地域拠点内での移動の利便性向上も図り、拠点の強化を図ります。また町内全体で路線バスの定額利用化と見直しを行い、利用促進を図ります。

町内全体での路線バス定額化と見直しによる利用促進

図表 能登町地域公共交通ネットワーク図



6. 地域公共交通計画の目標指標

基本方針の達成度を把握するため、以下の指標と目標値を設定します。

指標	現況値(令和3年度)	目標値(令和9年度)	評価年
町内の公共交通利用者数	93,677人/年	100,000人/年	毎年

指標	現況値(令和4年度)	目標値(令和9年度)	評価年
予約制乗合タクシーの収支率	23.9%*	現状より改善	毎年

指標	現況値(令和3年度)	目標値(令和9年度)	評価年
地域公共交通にかかる財政負担額	72,762千円/年	現状より減少	毎年

*令和4年4月1日に利用料金の改定を実施しており、令和3年度の状況と大きく異なることから、令和4年度の数値で試算

1. 地域公共交通計画について

○計画の目的

能登町では、平成20年度に能登町地域公共交通総合連携計画を策定し、予約制乗合タクシーの運行、路線の統合、利用促進等に取り組んできました。しかし、前回の計画策定から10年以上が経過しており、地域公共交通を取り巻く課題は変化していることが想定されます。まちづくりと一体となった持続可能な地域公共交通を再構築し、地域公共交通の再編と活性化を図るため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、地域公共交通計画の策定を行います。

○計画の位置づけ

「能登町地域公共交通計画」は、町の最上位計画として、長期的展望に立つ総合的なまちづくりの指針となる「能登町第二次総合計画」(2016~2025年度)を上位計画とし、上位計画で定める「人をつなぎ、地域をつなぎ、未来へつなぐまちづくり～人づくりが礎となる未来への虹の架け橋づくり～」や「誰もが住みよと感じる地域が一体となったまちづくり」の実現に向けて、地域公共交通のマスタープランとして策定します。

能登町第二次総合計画	
計画期間	2016~2025年度
将来像	人をつなぎ、地域をつなぎ、未来へつなぐまちづくり ～人づくりが礎となる未来への虹の架け橋づくり～
公共交通の位置づけ	誰もが利用しやすい公共交通の充実 ・バス交通等の充実 生活路線バスの運行補助・利用促進、予約制乗合タクシーの運行補助 ・広域公共交通の利用促進 地域をつなぐ公共交通の充実、のと鉄道の利用促進

○計画の区域

能登町全域とします。

○計画の期間

令和5年度から令和9年度までの5年間とします。

2. 地域公共交通を取り巻く課題の整理

各種データ・調査結果等を踏まえ、本町の地域公共交通の課題を整理しました。

課題1	合併前の地域公共交通の仕組みが継続しており、町全体での地域公共交通の体系が必要
課題2	町域を越えた移動の見直しが必要
課題3	財政負担が増え続けており、需要に合った効率化が必要
課題4	地域公共交通の利便性向上と利用促進が必要
課題5	地域公共交通の利便性向上と利用促進が必要
課題6	町民の地域公共交通利用への意識醸成が必要

3. 地域公共交通の基本的な方針

課題を解決するため、下記の基本方針を定めます。

基本方針1 町内全体で最適な地域公共交通ネットワークをつくる	基本方針2 町民、行政、事業者にとって持続可能な地域公共交通を目指す	基本方針3 町全体で連携し、地域公共交通を支える
--	--	------------------------------------

4. 地域公共交通を取り巻く課題の整理

基本方針達成のための取組施策、事業、及び実施主体を以下に示します。

基本方針	施策	事業	実施主体	実施スケジュール（年度）				
				R5	R6	R7	R8	R9
基本方針1 町内全体で最適な地域公共交通ネットワークをつくる	1-1 ネットワーク再編に向けた公共交通の推進	①特急バスの乗継強化	運行事業者、能登町	検討	検討・実証運行	実施	実施	実施
		②路線バスの町内定額化	運行事業者、能登町	検討	検討・実証運行	実施	実施	実施
		③支線の路線の効率化	運行事業者、能登町	検討	実施	実施	実施	実施
基本方針2 町民、行政、事業者にとって持続可能な地域公共交通を目指す	2-1 町内の公共交通の利便性向上	①路線バスの町内定額化（再掲）	運行事業者、能登町	検討	検討・実証運行	実施	実施	実施
		②路線バスの見直し	運行事業者、能登町	検討	実施	実施	実施	実施
		③予約制乗合タクシーの利便性向上	運行事業者、能登町	実施	実施	実施	実施	実施
		④路線バス廃止に伴う救済措置	運行事業者、能登町	実施	実施	実施	実施	実施
		⑤公共交通系 IC カード等を利用した電子決済の検討	能登町	—	検討	検討	実証実験	実施
	2-2 運行事業者への支援	①運転手確保支援	運行事業者、能登町	検討	実施	実施	実施	実施
		②車両購入補助	運行事業者、能登町	—	—	検討	実施	実施
		③予約制乗合タクシーの補助見直し	運行事業者、能登町	実施	実施	実施	実施	実施
	2-3 町民へのわかりやすい情報提供	①わかりやすい案内や時刻表の作成	運行事業者、能登町	検討・実施	実施	実施	実施	実施
		②主要施設における案内設置	町内施設、能登町	検討・実施	実施	実施	実施	実施
③検索しやすい環境の整備		運行事業者、能登町	—	検討	実施	実施	実施	
基本方針3 町全体で連携し、地域公共交通を支える	3-1 学生の利用促進	①学生による地域公共交通の利用促進	能登町	実施	実施	実施	実施	実施
		②高校生の通学定期券補助	能登町	実施	実施	実施	実施	実施
	3-2 高齢者の利用促進	①各種団体と連携した地域公共交通利用促進	町内施設、能登町	検討	実施	実施	実施	実施
		②各種団体と連携した地域公共交通利用促進（再掲）	町内施設、能登町	検討	実施	実施	実施	実施
	3-3 地域公共交通利用のための意識醸成	①各種団体と連携した地域公共交通利用促進（再掲）	町内施設、能登町	検討	実施	実施	実施	実施
		②広報媒体による継続的な情報提供	運行事業者、能登町	検討	実施	実施	実施	実施